

北河内地域の市民社会活性度調査：地域リーダーの意識調査

調査へのご協力をお願い

みなさま、北河内という地域をふだん意識されているでしょうか。大阪市の北東部で淀川東岸と生駒山麓の間に広がる7市（守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市）からなり、約110万人の人々が生活している地域です。わたしたちはこの地域に立地する大学の研究者として、この地域の生活・健康・環境・経済・文化・教育・行政・政治にわたる課題を明らかにするとともに、その将来の発展の方向を探るための総合的研究をおこなうことによってこの地域に貢献したいと考えています。その手はじめとして、この地域における各方面のリーダーの方々がこの地域についてどのように考え、何を重視して活動されているかを知るための意識調査をおこなうことにしました。地域の発展の基礎になるのはそこで生活・活動している人々の活力ですから、その中心になっている地域のリーダーの意識が地域の発展の動向にとって重要な意義をもつと思われるからです。

ご回答いただく方としては、主として7市の市政関係者、各市で登録されているNPOや市民団体、市民サークル、ボランティア団体、町内会や自治会の代表者、商工会、商店街などの経済団体・地域関連企業の代表者ないし実務担当者総数約3000件の宛先を想定しています。といっても、この調査は団体や組織・グループの立場や見解をお尋ねするものではなく、そのような役割をされている方々の個人としての印象・判断をお尋ねするものですので、回答はご関係の団体名も含めて無記名でお願いします。ご回答は統計的に処理し、回答者やその所属団体について外部には知られないようにしますので、ご迷惑をおかけすることはありません。統計的に処理した調査結果は、本年度中にとりまとめ、上記サイトに掲載いたします。なお調査票にご記入・返送いただいたことで、本調査の趣旨に御同意いただいたものと解させていただきます。

ご回答の仕方としては、同封の調査票に直接ご記入して添付の受取人払い封筒でご返送いただくか、インターネットで上記サイトにアクセスして調査票をダウンロードし、ご記入のうえメールに添付してアンケート調査事務局（kkawachi@atf.setsunan.ac.jp）にご返信いただくかの2通りがあります。整理の都合上、10月末日到着を締め切りとさせていただきます。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力いただきますようお願い申し上げます。

2014（平成26）年10月1日

摂南大学副学長 八木紀一郎

摂南大学 Smart and Human 研究プロジェクト「北河内総合研究」代表者